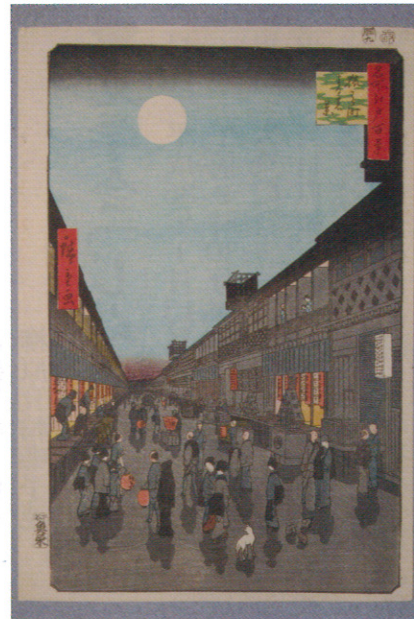


収蔵浮世絵展

# タテモノとマチナミ―都市と建築の画像を読みとく―

会期 平成26年2月25日(火)～5月6日(火・祝)



▶歌川広重「名所江戸百景猿わか町よるの景」  
安政三(一八五六年)

葛飾北斎や歌川広重の活躍により、風景をモチーフとする名所絵は、浮世絵の主要なジャンルの一つとなりました。特に芝増上寺や浅草寺などの寺社、大店三井呉服店のある駿河町、遊郭吉原といった賑やかな江戸の情景を描いたものは、人気の江戸土産となったのです。

そして八百八町と呼ばれた大都市江戸の広がりを効果的に表す方法の一つとして使われたのが、遠近法を利用した「浮絵」の技法でした。「浮絵」は、江戸初期の浮世絵師 奥村政信によって始められた、三次元的な立体感を強調する浮世絵の表現方法です。この技法を用いることにより、奥行きのある空間を表現することが可能に

なりました。

今回の展覧会では、特に浮世絵の技法で描かれた江戸のタテモノとマチナミの姿に注目します。前期には、歌川広重の《東都名所》や《名所江戸百景》シリーズをはじめ、浮世絵師たちが各々の視点で江戸の街に迫った作品に焦点を当てます。そして後期には、石造りのタテモノが点在する「東京」のマチナミを描いた作品をご紹介します。

浮世絵に描かれた情景を通して、江戸・東京の街並みと、その変化をご覧ください。



▶歌川国丸「新板浮絵 江戸芝神明之図」文化(一八〇四)一八(八頃)上・歌川国利「東京名所之内 浅草正観世音」明治一七(一八八四年)下



# 足立区立郷土博物館だより 65

平成25(2013)年10月  
ADACHI MUSEUM  
足立区立郷土博物館

江戸時代に宿場町として栄えた千住は、明治・大正・昭和初期には、物流及び商業の拠点として一段の繁栄を迎えました。

当時近代化や西洋化が急速に進む東京の近郊にありながら、千住の町の人々は江戸文化を希求しました。町の祭礼では伝統的な祭礼具を整え、日常の暮らしの中でも、江戸風の調度品や身近な画家・木彫師の作品の収集などを盛んに行いました。

この時代に、千住地域全体が大きく繁栄したことを象徴する「大千住(おおせんじゅ)」という言葉が生まれました。今回の特別展ではこの「大千住」をキーワードに、近代東京に接し輝きを見せた近郊都市「大千住」と、その基礎となった江戸時代の千住の文化史をご紹介します。また特別展開催に伴い、千住を始めとした区内各地の会場で、関連事業を行います。

本展覧会では千住の繁栄を物語る多くの資料が展示します。また五年ぶりに千住四丁目水川神社の山車の組み上げを行い、きらびやかな姿をご覧いただけます。皆さまの来館をお待ちしております。

## 特別展 おおせんじゅ 大千住展 ―町の繁栄と祝祭― 会期 平成25年11月6日(水)～平成26年1月26日(日)



▶狩野素川「群鶴図屏風」右隻千住横山佐吉氏蔵



▲千住橋戸町の祭礼の様子(昭和初期)



▲掃部宿小型厨子 千住仲町 若田昇一氏寄贈 当館蔵

### 利用案内

**開館時間** 9:00～17:00 (入館は16:30まで)  
**休館日** 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、年末年始  
**入館料** 一般200円(高校生以上)  
団体(20名以上)は半額  
70歳以上は無料。障がい者手帳保持者およびその介護者1名は無料。  
5月5日・5月18日・10月1日・11月3日は無料公開日  
第2・第3土曜日は無料公開日  
**交通案内** JR 亀有駅北口  
東武バス 八潮駅南口行(足立郷土博物館) 下車 徒歩1分  
六ツ木都住行(東澗江庭園) 下車 徒歩4分  
千代田線 綾瀬駅西口  
東武バス 六ツ木都住行(東澗江庭園) 下車 徒歩4分  
駐車場有



博物館だより No. 65  
平成25(2013)年10月 発行  
登録番号25-296

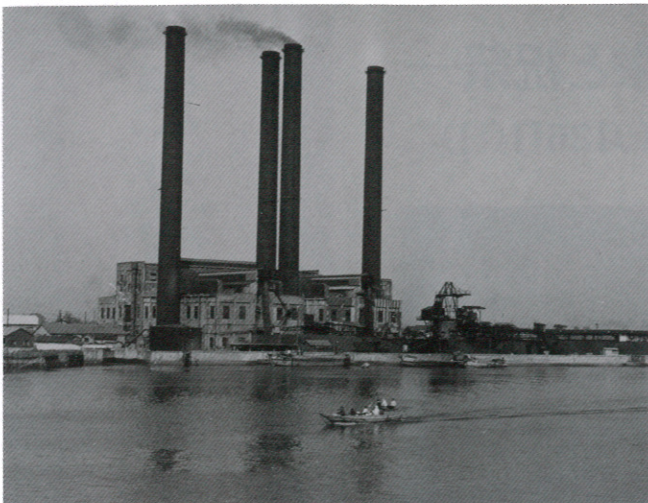
「美しいまち」は「安全なまち」  
ビューティフル・ウィンドウズ運動展開中

再生紙を使用しています。

# 大千住展関連イベント

## ①巡回パネル展『千住歴史大全』

○東京電機大学 東京千住キャンパスギヤラリー  
(足立区千住旭町5)  
会期 10月30日(水)～11月14日(木)  
午前9時～午後7時(11月10日(日)は休み)  
○足立区立中央図書館(足立区千住5-13-5)  
会期 11月16日(土)～12月26日(木)  
○ギヤラシティ(足立区栗原1-3-1)  
会期 平成26年1月8日(水)～1月26日(日)  
※各会場入場無料  
千住の誕生や千住で花開いた文化、また現在行われているお祭りや年中行事など、千住にまつわる様々な出来事を、解説パネルで紹介いたします。



▲昭和39年まで千住のシンボルだったお化け煙突

## ②「千住の巢兆」展

会期 11月1日(金)～5日(火)  
1日 午後1時～6時  
2～4日 午前10時～午後6時  
5日 午前10時～午後4時  
場所 シアター1010ギヤラリーB

(足立区千住3-92)  
主催 あだち拓本研究会(博物館登録グループ)  
共催 足立区立郷土博物館  
後援 足立区文化団体連合会  
※入場無料  
建部巢兆(1761-1814)は、千住河原町の間屋藤澤家の人で、千住関屋に秋香庵(しゅうこうあん)を構え、俳諧師・絵師として活躍した人物です。建部巢兆の俳諧や絵画、そして巢兆を慕った文人たちの作品を通して、千住の巢兆の魅力をご覧ください。



▶「煎茶の図画賛」 亀田鵬斎書・建部巢兆画

## ③「大千住展」講演会

○「おお!千住」  
日時 11月16日(土)午後2時から  
講師 安藤 義雄氏(足立史談会名誉会長)  
○「どう見たら江戸絵画が楽しめるのか?」  
日時 12月8日(日)午後2時から

## ◆冬季区民教養講座

「伝統芸能・神楽と獅子舞―足立の民俗芸能にもふれて―」

日時 12月8日(日)午後1時から  
講師 中村 規氏(都市民俗研究所所長)  
会場 勤労福祉会館(綾瀬ブルミエ)  
申込 当日直接会場へお越しください。

## ◆初釜の会

日時 平成26年1月11日(土)  
博物館の茶室臨湖亭でのお茶会と、中庭舞台での郷土芸能鑑賞会を行います。  
【お茶席】午前10時30分から  
※先着100名様に整理券を配布します(無料)。  
【お囃子】午前11時から  
出演団体 皿沼囃子保存会  
高砂祭囃子保存会  
柳原箕輪囃子連

## ◆見学会「じんがんなわ」

日時 平成26年1月13日(月・祝)  
午前9時30分から11時まで  
場所 大乘院(足立区西保木間2-14-5)  
申込 当日直接、会場の大乗院へお越しください。  
足立区指定民俗文化財「じんがんなわ」の見学会を行います。じんがんなわとは、魔除けのためにわらへびを作って木の上にかかげるお祭りで、毎年旧保木間村の大門ズシで行われています。見学会に参加すると、わらへびの体づくりを体験できます。

## ◆博物館の桜まつり

平成26年3月29日(土)～4月6日(日)  
博物館の近くの桜並木が開花する時期に合わせて、博物館では桜まつりを開催します。桜まつりの期間中、博物館は無料公開となり、3月31日の月曜日は臨時開館いたします。お囃子の演奏や昔遊びの体験、博物館の協働グループによる展示などを行います。大谷田5丁目町会による催しも行われます。ぜひご来館ください。



▲博物館の前には、美しい桜並木が続いています。

◀和太鼓やお囃子の演奏、昔遊びの体験など、様々なイベントを行います。



講師 安村 敏信氏(江戸探偵/萬美術屋/前板橋区立美術館館長)  
※講演会はいずれも会場は博物館講堂、定員80名(当日先着順)

## 博物館からのお知らせ

### ◆郷土芸能鑑賞会

日時 11月3日(日)午前11時から  
出演団体 江戸ばやし仲町巴会  
六月囃子連中  
花畑大鷲神社神太鼓

足立区郷土芸能保存会の皆さんが、博物館の中庭舞台でお囃子や獅子舞などをご披露します。



▲江戸ばやし仲町巴会の皆さんによる演奏

## 博物館の映画会

毎月第2土曜日の無料公開日に映画を上映します。直接博物館へお越し下さい。各回午前11時より。

- 11月9日 「神々のふるさと―出雲神楽―」(41分)  
陰暦の10月に八百萬の神々が集まることから、神無月を神在月と呼ぶ出雲。出雲神楽の秘密に迫る。
- 12月14日 「伊那人形芝居―明日へつなぐ伝承のチカラ―」(36分)  
伊那谷に約300年前から継承されてきた人形芝居を追い、伝承のチカラの秘密に迫る。
- 「つっわに託す―大西勲の髹漆(きゅうしつ)―」(35分)  
大西氏の卓越した技を映し出し、氏の漆塗りにかける思いを描く。
- 1月11日 初釜行事開催のためお休みします。
- 2月8日 「蒔絵師―上草清二氏―」(22分)  
「江戸刺繍―野村国俊氏―」(23分)  
台東区の伝統工芸の中から、蒔絵師の上草氏と江戸刺繍の野村氏の技術を紹介。 [製作…台東区産業振興課]
- 3月8日 「狂言・野村万蔵―技とこころ―」(50分)  
人間国宝・野村万蔵氏の姿を通して、科白劇として大成した狂言とは何かを描き出す。
- 4月12日 「加賀象嵌(ぞうがん) 中川衛美の世界―新たな伝統を創る―」(39分)  
加賀象嵌のデザインと技術に投影される中川氏の生き様を描き出す。
- 「飛騨 古川祭―起し太鼓が響く夜―」(35分)  
起し太鼓の裸の男達のぶつかり合う熱気と本祭の屋台の曳き揃えなどを描く。

\*製作の表記のない作品は、全て公益財団法人ポララ伝統文化振興財団の所蔵する作品です。  
\*上映作品は都合により変更する場合があります。